

2024. 7. 7

北九州市教職員組合にゆうす



## 第33回 市教組定期大会、開催される！NO.4

今大会で「論議されたもの」のつづきです。

### 落水代議員の質問

**2点質問、1点目。**教育予算について。今年度の学校予算だが、私の学校は小学校児童数約400人で学校予算約700万円。昨年度より100万円少なくなった。これまでもギリギリの予算運営だったのに、今年度はどうやって100万円を削減するのか、学校規模によって額は違うが、全校の事務職員が同じように頭を抱えている。市教委からはどのように運営していくのかの指示もない。管理職が危機意識を持ち、これでは困ると言っているようでもない。事務職員の努力だけではどうにもならない事態になっている。それだけでなく、小学校は給食の洗剤等、年間30万円かかるところ4万円しか予算が来ず、後の26万円は教材を購入する予算をまわしている。また社会見学等のバス代は3倍に跳ね上がり、保護者にも大きな負担をかけている。子どもたちの学習や教育環境に影響が出ることは必至であり、教育に必要な予算をどのように確保していくのか、市教組としての対策は？



### 赤木事務職員部長の答弁①

北九州市の昨年の税収入は過去最高になっており、今年度の全体の予算は「過去最高である」と聞いている。その状況下にかかわらず、教育予算が減額されているとは「言語道断」であり、「こども真ん中社会」はどこにあるのか？と疑ってしまう。そのような中1校につき100万円以上の予算削減は、いさどおりを感じており、事務職員や一(いち)学校の力だけでは、対応できるものではない。市教組として議案書のP30ページの「教育予算拡充のとりくみ」の25行目と、それからP34ページ23行目で書記長が提案したとおり、「教育予算の増額の要求」を本体交渉にて、組合の総力をあげて教育予算の増額を強く訴えていき、粘り強く交渉を重ねて「教育予算増額」を勝ち取っていきたいと考えている。



**2点目。**12年前、市教委は「先生方の負担軽減のため」と校納金事務を事務補助さんの仕事とした。そしてこれまで事務補助さんは「先生方が少しでも楽になるなら」と一生懸命対応してきてくれた。その事務補助さんが今また、先生方の負担軽減のためのサポートスタッフさんを全校配置するため、採用枠をとられ、切り捨てられている。全校190校中約80校の事務補助さんが削減された。そしてその削減された学校の事務補助さんの仕事を正規事務職員がすることになり、2人分の仕事をして病気になる人も出てきている。事務職員も切り捨てられるのだろうか。増え続ける先生たちの仕事を事務職員や事務補助、サポートスタッフにまわすのが、本当の働き方改革だろうか。わたしたちが求めているのは、人員の増員、「公会計化」など業務の負担軽減や削減である。

職場の分断は市教委の思うツボである。今、学校現場が分断するのか、それとも声を上げて団結するのか、岐路に立っている。先生方からも声を上げていただきたいと思う。執行部の対応は？

### 答弁②

2点目。まず回答として「声を上げて団結」の一択であると考えている。従来から「校納金」業務は、担任の仕事とされていたが、事務補助さんの一生懸命な対応により、担任が業者への支払いなどをすることが無くなり、かなりの業務改善につながったと思う。その事務補助さんを切り捨てることは大変遺憾に思っている。議案書の34ページ11行目で書記長が提案したとおり、1点目と同じように、事務職員部のセクション交渉だけではなく、「本体の要求書」にしっかり明記していただき、団結して本体交渉で「粘り強い交渉」を重ねていきたい。



NO.15へつづきます

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953 - 0381

